

Bell-Park

第17期第2四半期決算説明会

(2009年1月1日～2009年6月30日)

～参考資料～

2009年7月31日

株式会社ベルパーク



<http://www.bellpark.co.jp/>

目次

はじめに

非連結決算を行うことについて

◆ 補足資料

1 財務実績編

2 営業実績編

□ 参考資料

ソフトバンクショップ数

非連結決算を行うことについて

➤ 当社グループは、07年連結会計年度まで当社及び連結子会社5社で構成されておりましたが、08年6月に連結子会社でありました株式会社ジャパンプロスタッフの株式の50%を株式会社ピーアンドピーに譲渡し、同社を持分法適用関連会社といたしました。

また、連結子会社でありました株式会社アップワード・モビリティ及び株式会社モバイルタイガーは、08年9月開催の臨時株主総会において解散を決議し、08年12月に清算終了いたしました。さらに、連結子会社であります株式会社オプトパワーを09年5月に解散いたしました。休眠子会社の株式会社ニッカは、その資産状況から見て、当社企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を誤らせない程度に重要性が乏しいものと判断し、連結財務諸表の作成はしないことといたしました。

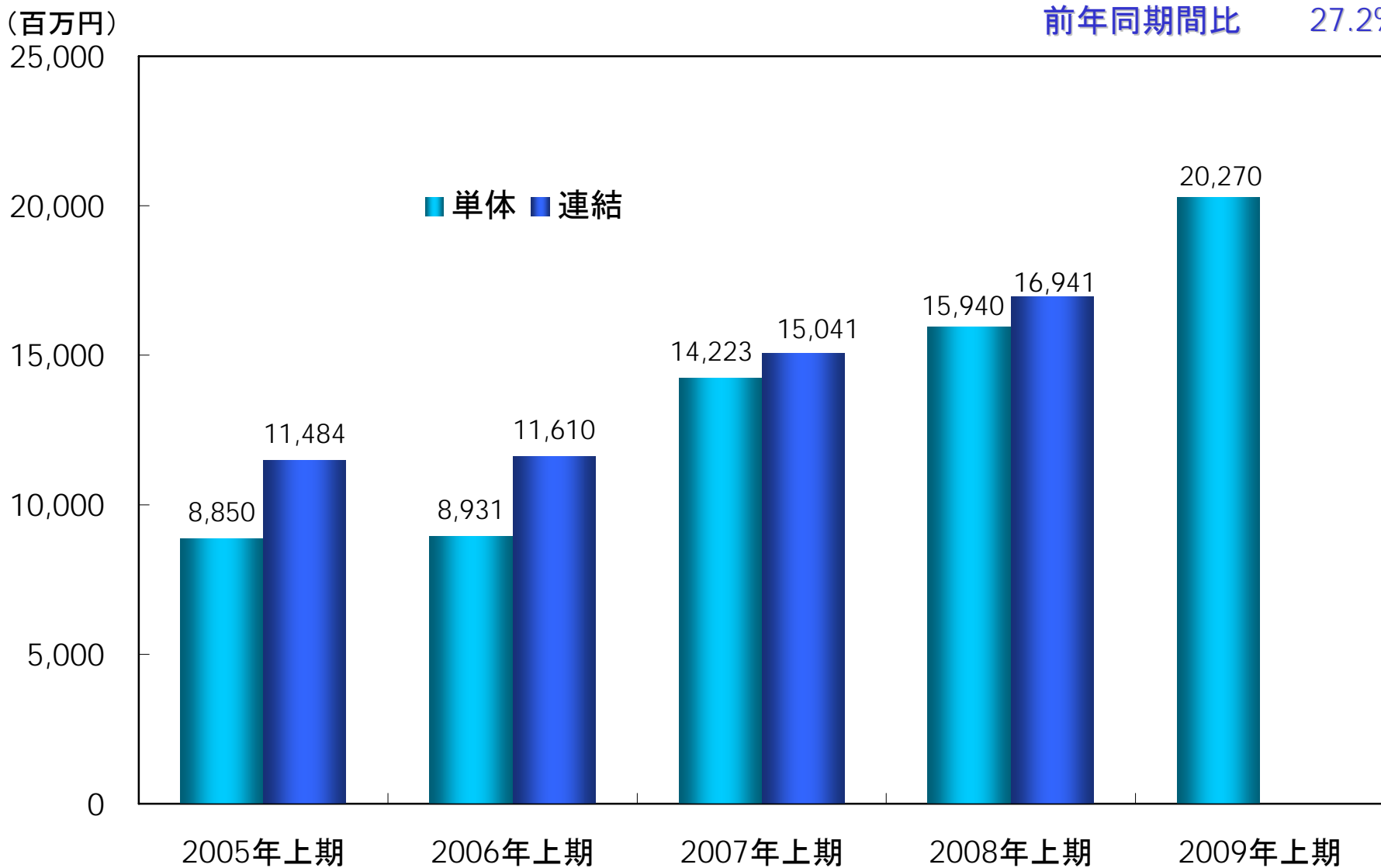
従って、09年12月期からは非連結の決算を行っております。

補足資料

1 財務実績編

1. 売上高(連結・単体)

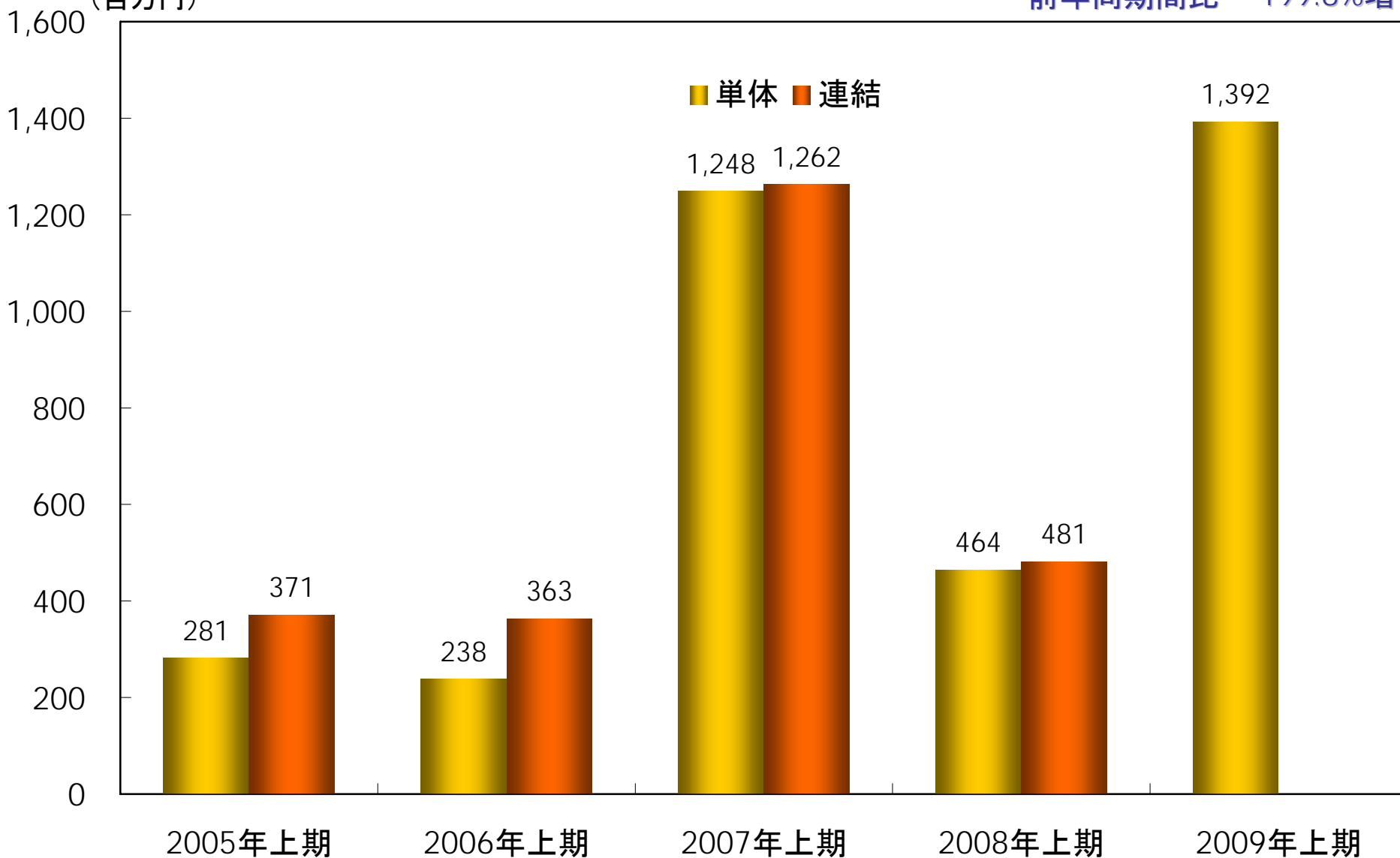
前年同期間比 27.2%増



2. 經常利益(連結・単体)

(百万円)

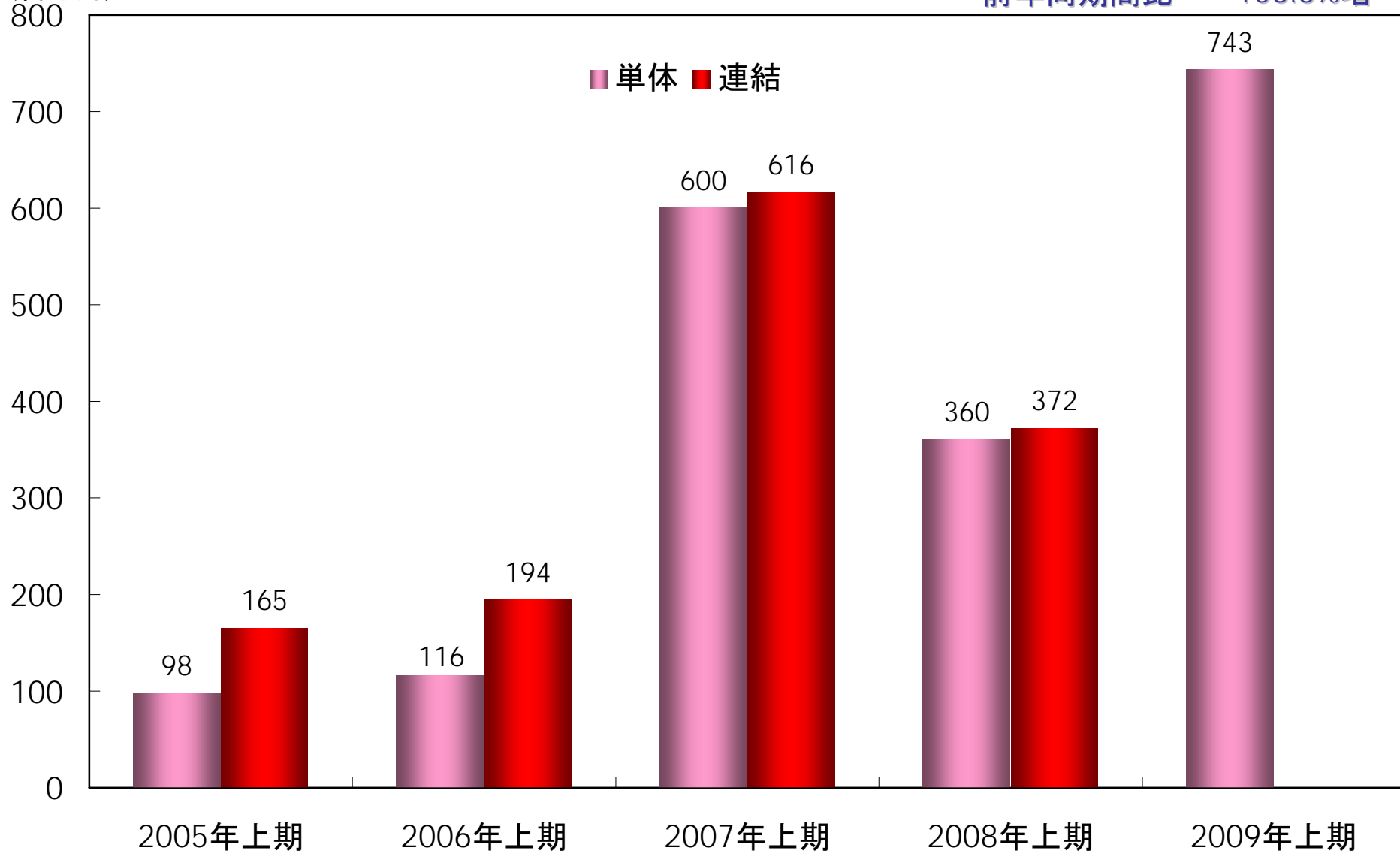
前年同期間比 199.8%増



3. 当期純利益(連結・単体)

(百万円)

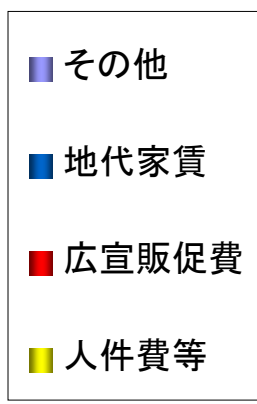
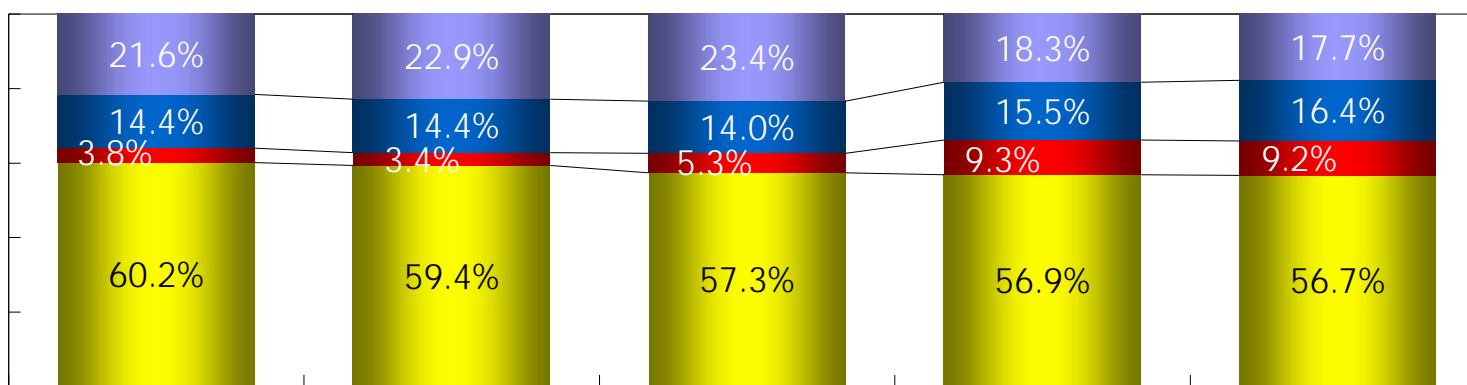
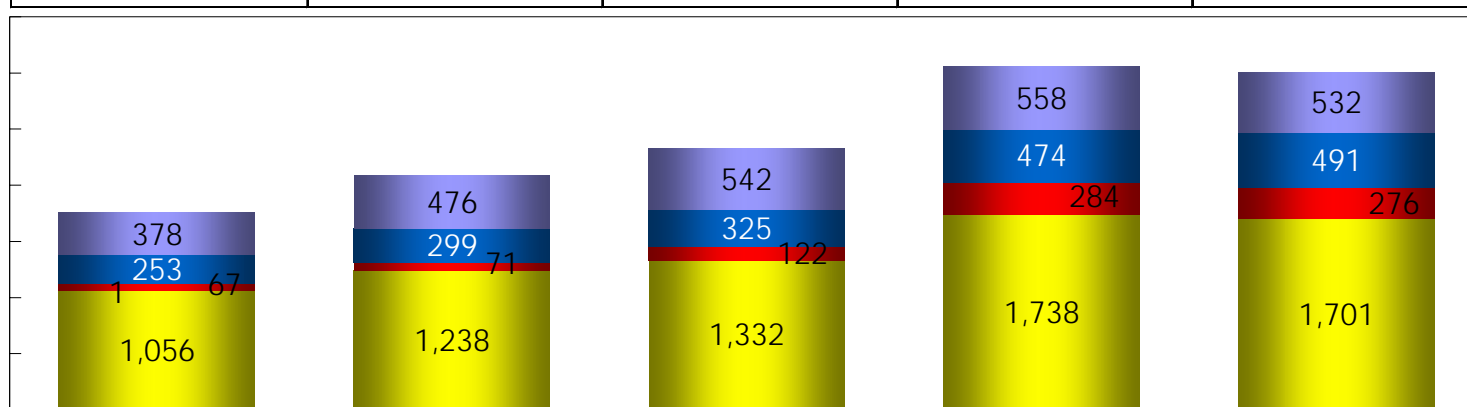
前年同期間比 106.3%増



4. 販売管理費

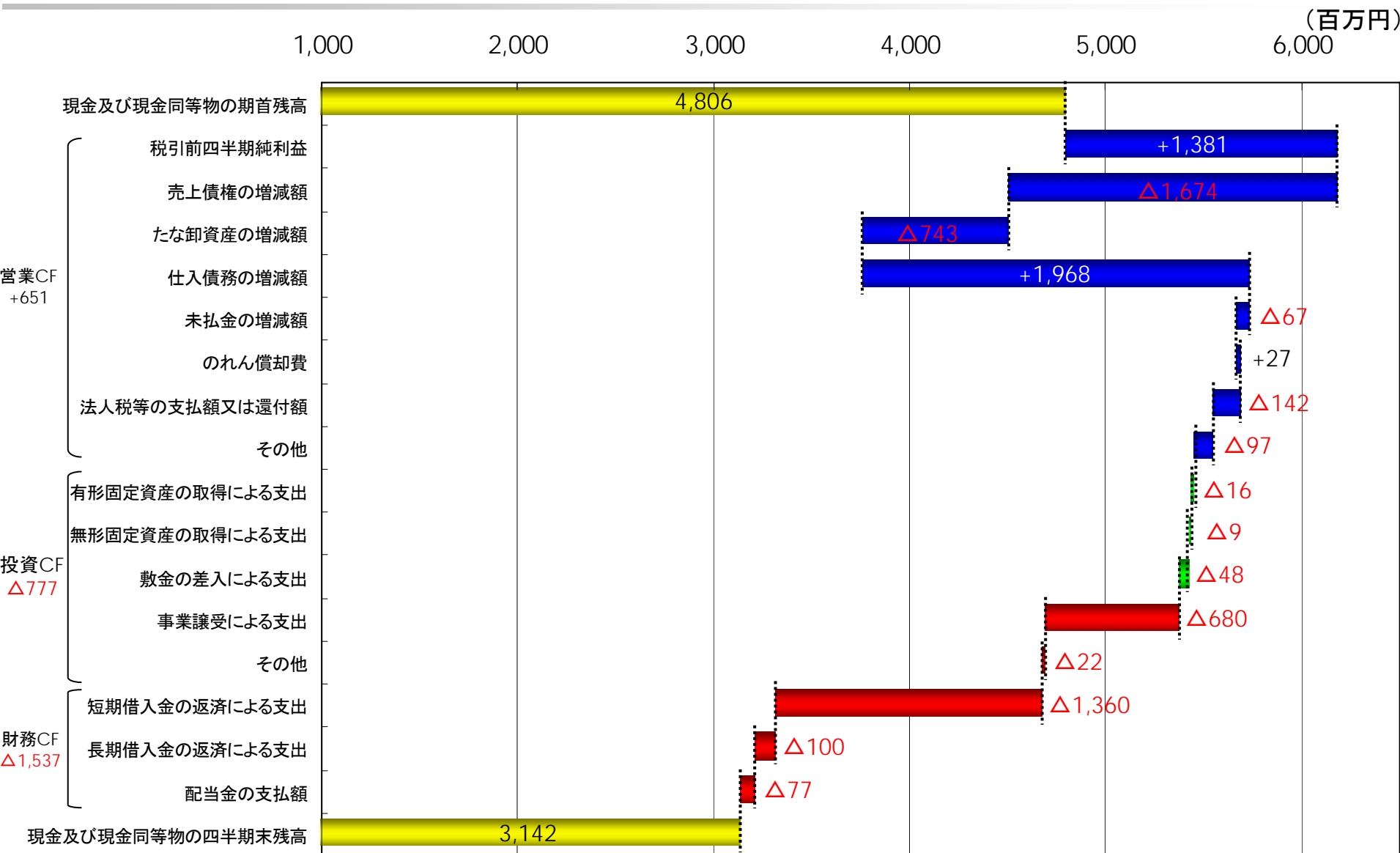
2005年上期	2006年上期	2007年上期	2008年上期	2009年上期(単体)	決算期
2,123	2,443	3,586	3,530	4,404	売上総利益(百万円)
1,056	1,238	1,332	1,738	1,701	人件費等(百万円)
1,755	2,086	2,324	3,055	3,001	販売管理費(百万円)
2.01	1.97	2.69	2.03	2.59	売上総利益 ／人件費等
1.21	1.17	1.54	1.16	1.47	売上総利益 ／販売管理費

(百万円)

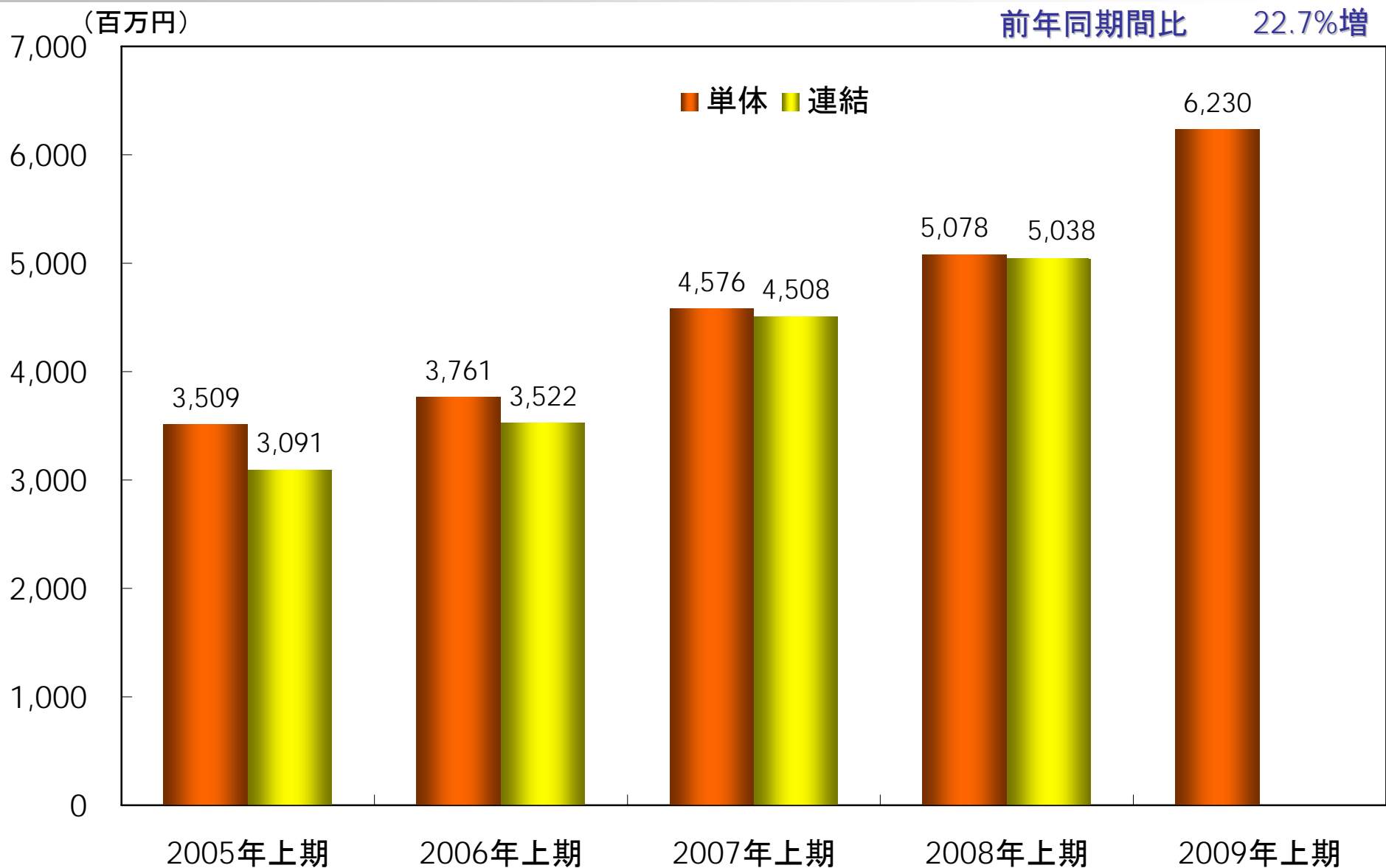


2005年上期 2006年上期 2007年上期 2008年上期 2009年上期

5. キャッシュ・フロー内訳



6. 純資産(連結・単体)



7. 財務指標

		2005年上期	2006年上期	2007年上期	2008年上期	2009年上期 (単体)
収益性	総資産経常利益率	11.2%	11.4%	30.9%	10.5%	21.6%
	自己資本当期純利益率	10.8%	11.3%	29.4%	15.2%	25.2%
	キャッシュフロー・マージン	—	—	1.9%	1.6%	3.2%
	売上高総利益率	18.5%	21.1%	23.8%	20.8%	21.7%
	売上高経常利益率	3.2%	3.1%	8.4%	2.8%	6.9%
効率性	総資産回転率(回/年)	3.47	3.65	3.68	3.69	3.15
	売上債権回転日数(日)	34.5	33.8	34.3	31.7	37.7
	在庫回転日数(日)	19.6	21.2	20.7	24.4	20.1
安全性	自己資本比率	48.4%	59.6%	52.7%	62.1%	45.7%
	流動比率	158.9%	196.5%	176.9%	206.1%	183.1%

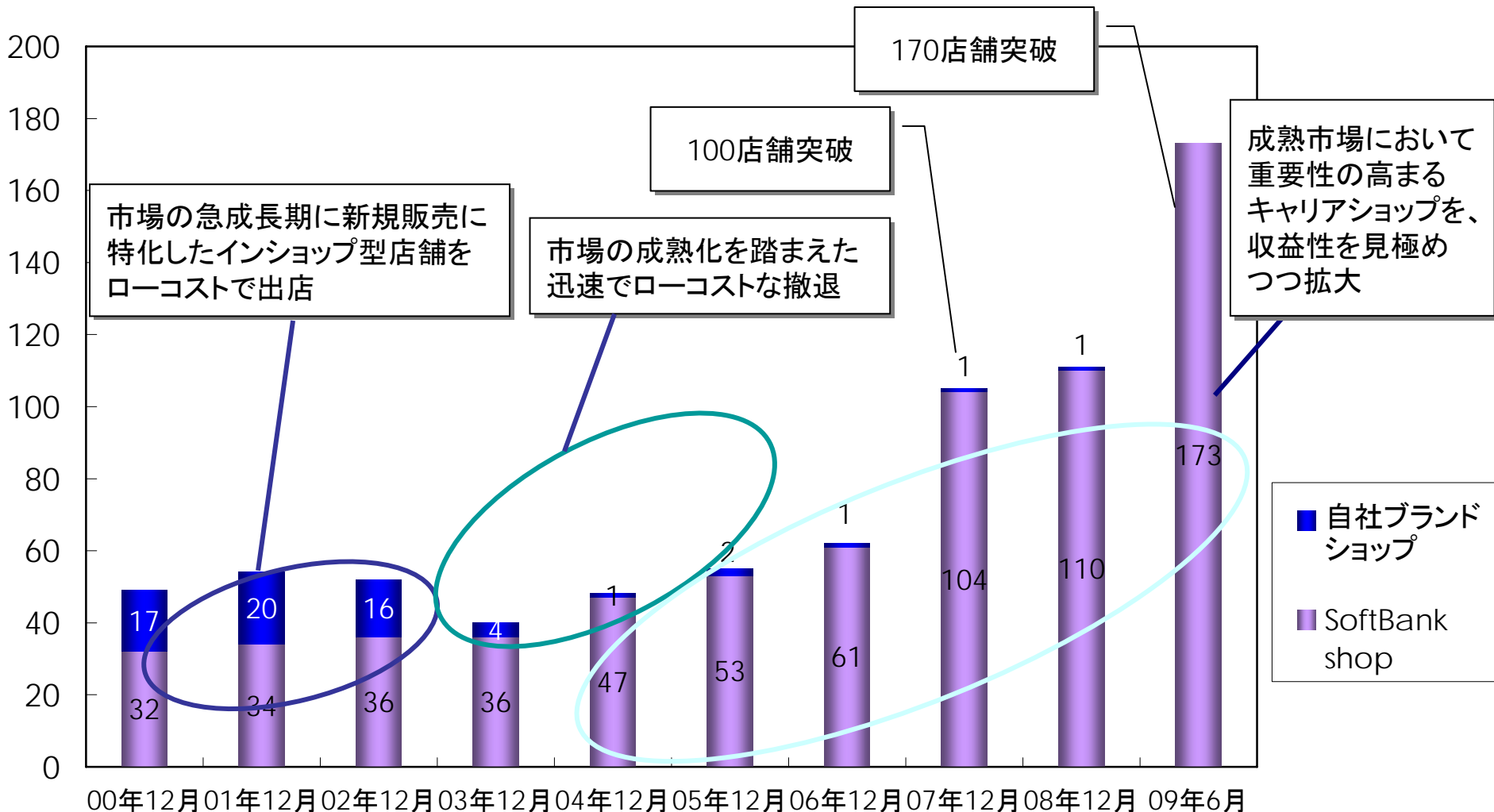
補足資料

2 営業実績編

1. 当社店舗数推移

ニーズの変遷と事業採算を踏まえて、キャリア・ショップに特化へ

(店)



2. 店舗網

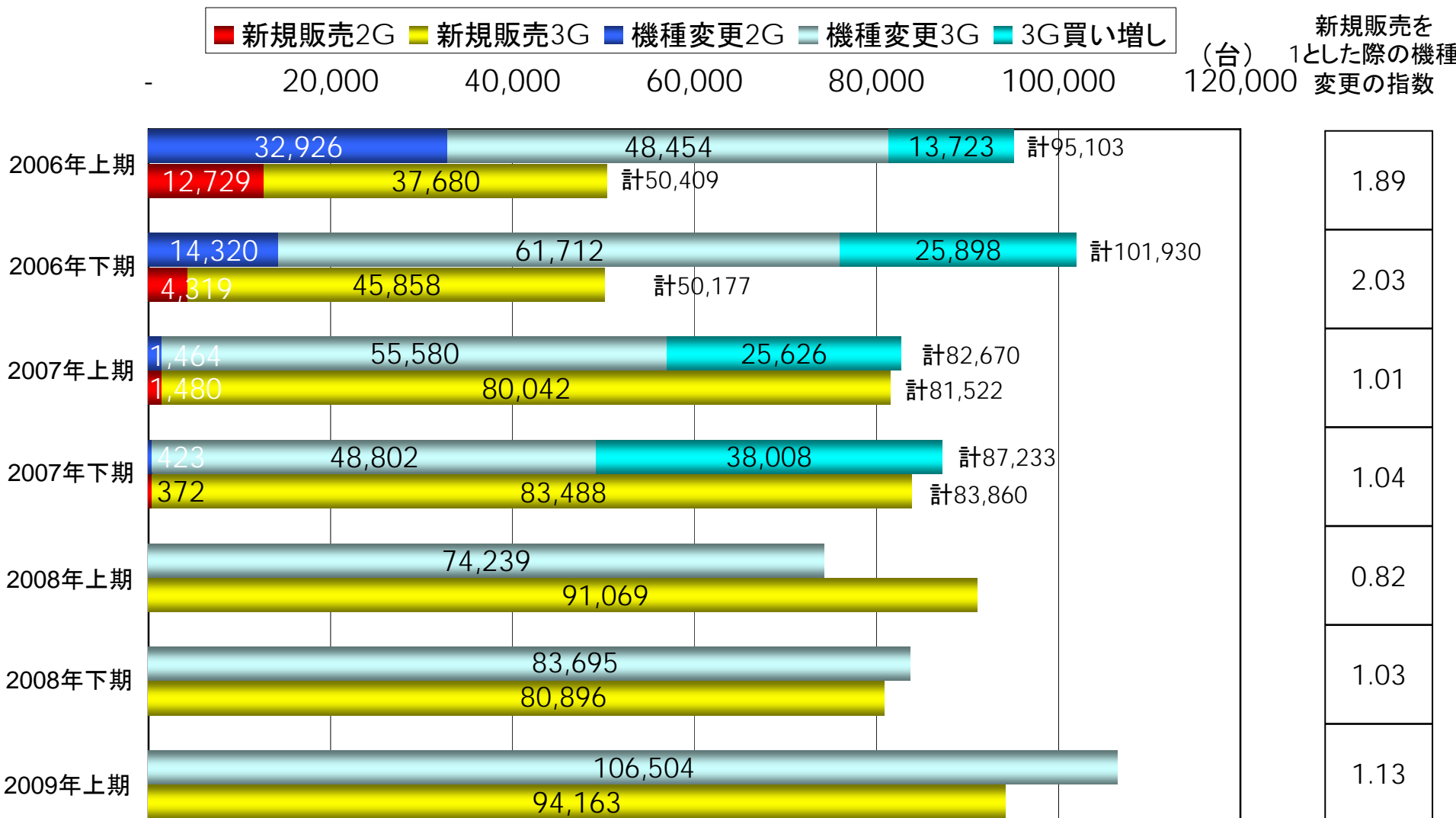
1都2府18県に「SoftBank shop」を173店展開。
(2009年6月末現在)

地域別店舗数

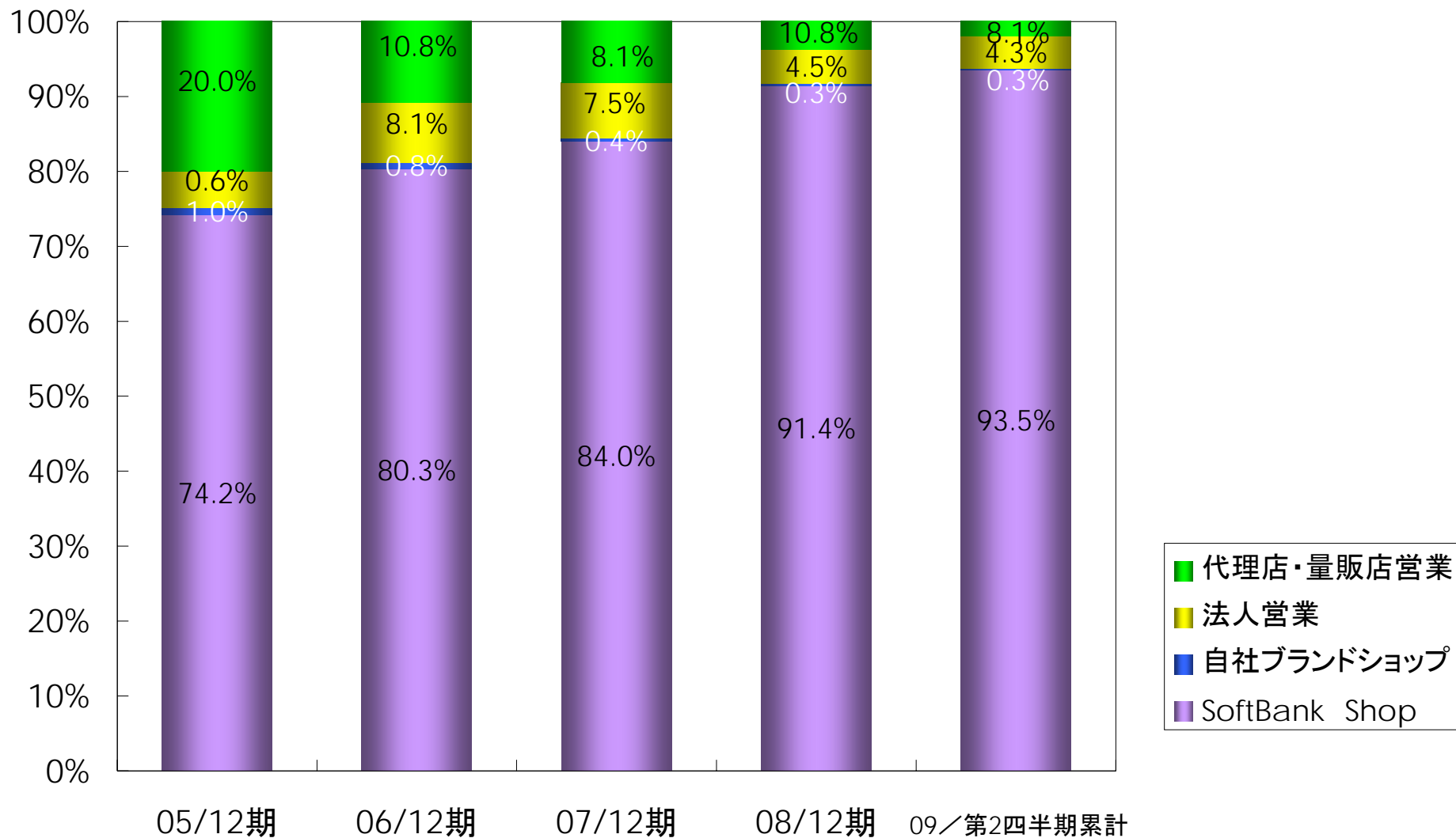
店 舗 数	SoftBank shop	
	直営店	FC店
東 北	2	10
北 陸	1	1
関 東	89	3
東 海	19	18
関 西	9	17
中 国	3	1
小 計	123	50



3. 販売台数推移



4. 新規販売台数チャネル構成比推移



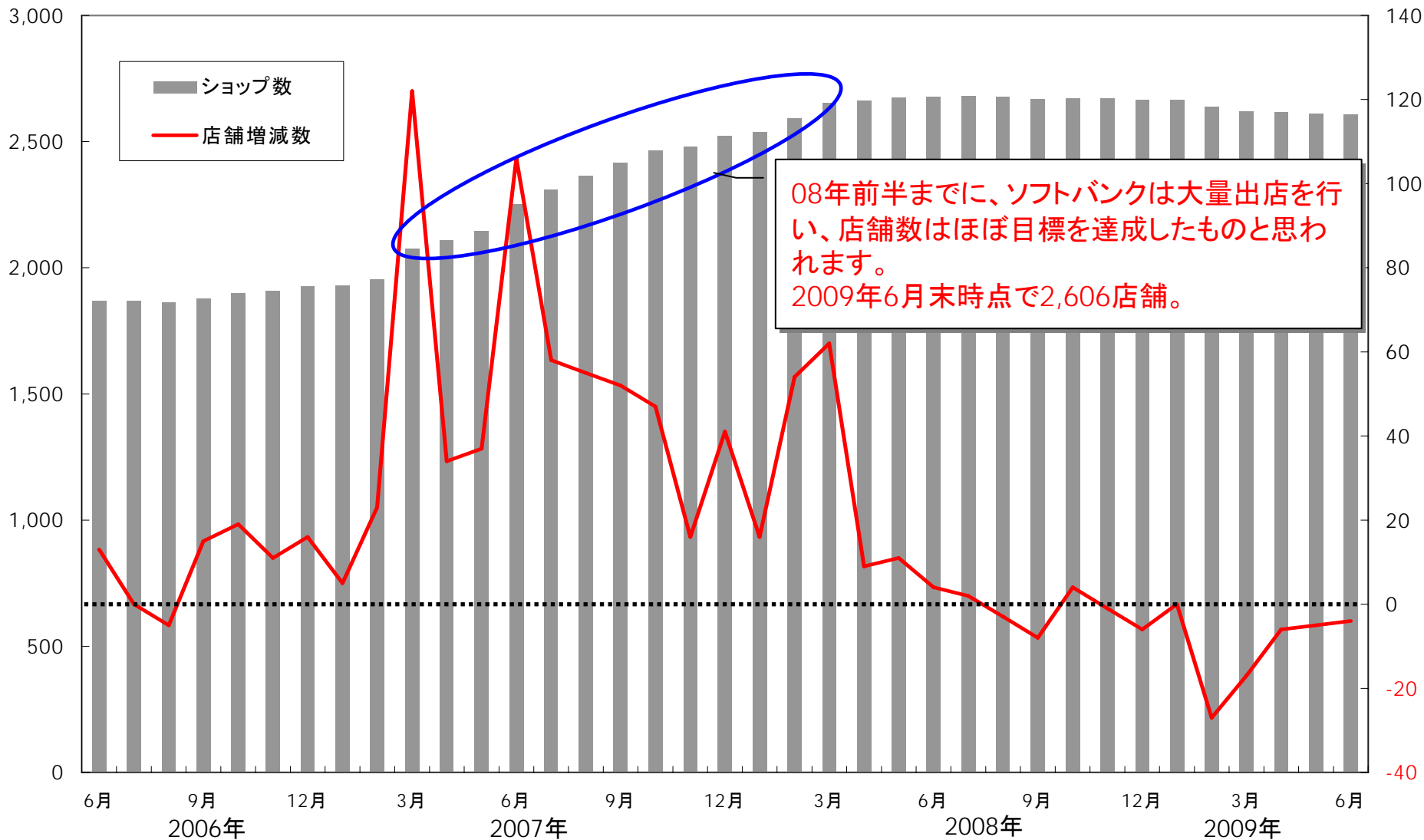
参考資料

ソフトバンクショップ数

ソフトバンクショップの全店舗数推移

(店:SBショップ数)

(店:増店数)



(ソフトバンクモバイル発表資料に基づき当社作成)

将来の見通しに対する記述についての注意事項

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であり、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであるため、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があります。